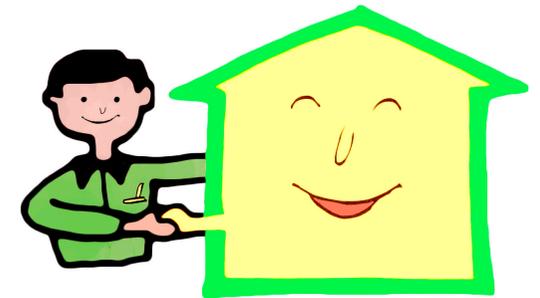


共に考えよう

高齢者や障がい者が
豊かで安心して暮らせる
街づくり・人づくり



 NPO 法人 ふくてっく

NPO 法人 ふくてっく とは

高齢者や障がい者の住環境を快適で安全なものにすることを目的し、1993年大阪市社会福祉協議会の支援を受けて発足しました。

一・二級建築士、福祉住環境コーディネーターや医療・福祉分野の有資格者が多数参加しています。

当初より住宅のバリアフリー工事を実施し、2006年より東大阪市の委託事業として住宅改修の適正検証を行っています。その他、福祉サービス第三者評価、福祉用具の研究、会員向けの研修会、木工教室、コミュニティ・ビジネスを行っています。

ふくしとは
くらしを守る
てくにつく
つよーい味方の
くろうと仲間

～楽しくやろう！市民福祉～

ふくてっくには、建築・医療・福祉分野以外にも、多岐に亘る専門職が参加しており、お互いの専門領域における見識と誇りを大切にしつつ、相互に研鑽しあう機会を育んでいます。

あなたも仲間になって、自らの人生を耕しませんか。どなたでも気軽に活動していただけます。



特定非営利活動法人 ふくてっく

〒559-0034 大阪市住之江区南港北2-1-10

ATC・ITM棟5階J-5-4

tel 06-6614-6800

定例会：毎月第1土曜日 PM1:30～5:00頃

会 場：大阪市立社会福祉センター 他
(天王寺区東高津町12-10)

発 足：1993.7 (福祉機器・住宅研究会)

NPO認証：2002.9

会員数：正会員37名・通信会員3名・学生会員2名
大阪府福祉サービス第三者評価機関（高齢者・
障害者・児童および社会的養護分野）

mail@fukutech.sakura.ne.jp

<http://fukutech.sakura.ne.jp/>

「高齢になっても住み慣れた地域で暮らしたい」
「障がいがあっても安心して生活したい」
「高齢者や子ども達と一緒に物づくりがしたい」・・・

いろいろな「したい」を一緒に考え、実現することを目指しています。

ふくてっくのつどい

みんなで楽しく笑顔で活動しよう！

高齢者、子ども、障がい児・者、あらゆる人達と一緒に、たくさんの新たな体験を実現することを楽しみに、私たちは活動しています。

活動の根幹に『ものづくり』というテーマを持ち、いろいろな角度からアプローチをするとともに新たなチャレンジを続けていきます。

活動を一部紹介すると、子ども木工教室、自由工作、パソコン教室、住宅改修相談など多岐にわたっております。

「やりたいことがある！」「1人でやるにはむずかしい！」などなど、「仲間がいれば出来るのに…」とあきらめないで、仲間が必要な方は「ふくてっく」にご相談いただき、是非一緒に活動しましょう

東大阪部会

市民と専門家の視点を大切にする

高齢者・障がい者に住み慣れた地域で、安全・安心な生活を持続して頂くために、行政施策の一翼を担って、東大阪市において住宅改造費助成事業・介護保険住宅改修の適正検証活動、尼崎市では介護保険住宅改修支援事業に取り組んでいます。

地域福祉力の育成も重要な課題とし、「専門性」「公平中立」「現場の目線」を重視した活動を行っています。

こむねっと事業部会

手をつなごう 専門職の知恵と市民感覚

診る 福祉サービス第三者評価

サービス提供者でもない、利用者でもない第三者の立場で、福祉サービス提供の状況を多角的に観察評価し、結果を公表することによって利用者がサービスを主体的に選択するために欠かせない情報を社会に提供します。ややもすると閉鎖的になりがちな福祉サービスの現場に“かせ”を吹き込むことによって、当事者が見落としてしまう“気づき”を促して、より質の高いサービスを供給できるシステムの完成を目指します。

私たちはあくまで支援者であって、事業所職員、そして利用者が主役です。事業所が単独では解決できない社会課題を見出して、制度や市民社会のあり方についても、第三者ならではの発信をしてゆきたいと考えています。

第三者評価は、私たち市民自らが責任をもって豊かな市民社会を構築してゆくための自発活動のひとつであり、高い専門性とともな温かい市民感覚を不可欠としています。

甦らせる 既存社会資源活用プロジェクト

福祉サービスの趣旨は、施設福祉から“地域福祉”へと移行してゆきます。そのような中で、社会の隅々まできめ細かなサービス提供を、持続可能な経済的負担の枠組みで充実してゆくには、既存の社会資源の有効な活用が肝要です。一方で安全な環境の確保は絶対的の要件ですが、残念ながら既存資源の全てが無対策のまま安易に活用できる状況にありません。

私たちは、建物調査やしかるべき改善計画についてのコンサルティングを通じて、既存社会資源の安全かつ合理的な活用について、技術と知恵を傾倒して地域福祉の充実に貢献します。

護る S・C・P (Service Continuity Plan)

福祉サービスを取り巻く環境は様々に厳しさを増しています。災害も非日常とは考えられなくなりました。そのほかサービスに伴う予期せぬトラブルも多岐に亘り、深刻です。どのような事態に至ってもサービスを継続して行けるシステムは日常から構築し、絶えず更新して行かねばなりません。

そのような観点から、事業所を点検し、多岐に亘る知見を集約して職員や利用者、そしてなにより地域福祉を護ることを考えます。

育てる 障がいある方の地域生活環境改善

障がいある方が地域で当たり前のように生活して行けるための環境整備が喫緊の課題です。障がい者が主体となって、インクルーシヴ社会を構築するには、マインドは絶対要件ですが、ハードを置き去りには成り立ちません。そのような、不可欠な環境づくりを私どもが支援します。

私たちが環境づくりの主役ではなく、障がいある方を主役に育てるのです。

つなぐ 市民活動ネットワーク

市民が、行政や企業にばかり依存することをやめ、自らの連帯をもって、責任ある市民社会を形成するには、なによりも私たち市民活動が、その垣根を払って協働するシステムを作らねばなりません。

私たちは“階（きざはし）”となって、“力”と“夢”をつなぎます。



趣味は 幸せづくり
特技は 笑顔づくり